



がん高度実践看護師WG講演会 in Tokushima
2021年度がん看護インテンシブコースⅡ

がん患者のライフステージの様々なニーズに
応える高度な看護実践の展開

高齢がん患者の意思決定に対する高度な看護実践



山田 博英 先生 13:10～14:10

(社会福祉法人聖隷福祉事業団総合病院 聖隷浜松病院 緩和ケアセンター長 緩和医療科部長)
「高齢がん患者の特徴を踏まえた意思決定支援」



平野 勇太 先生 14:20～15:20

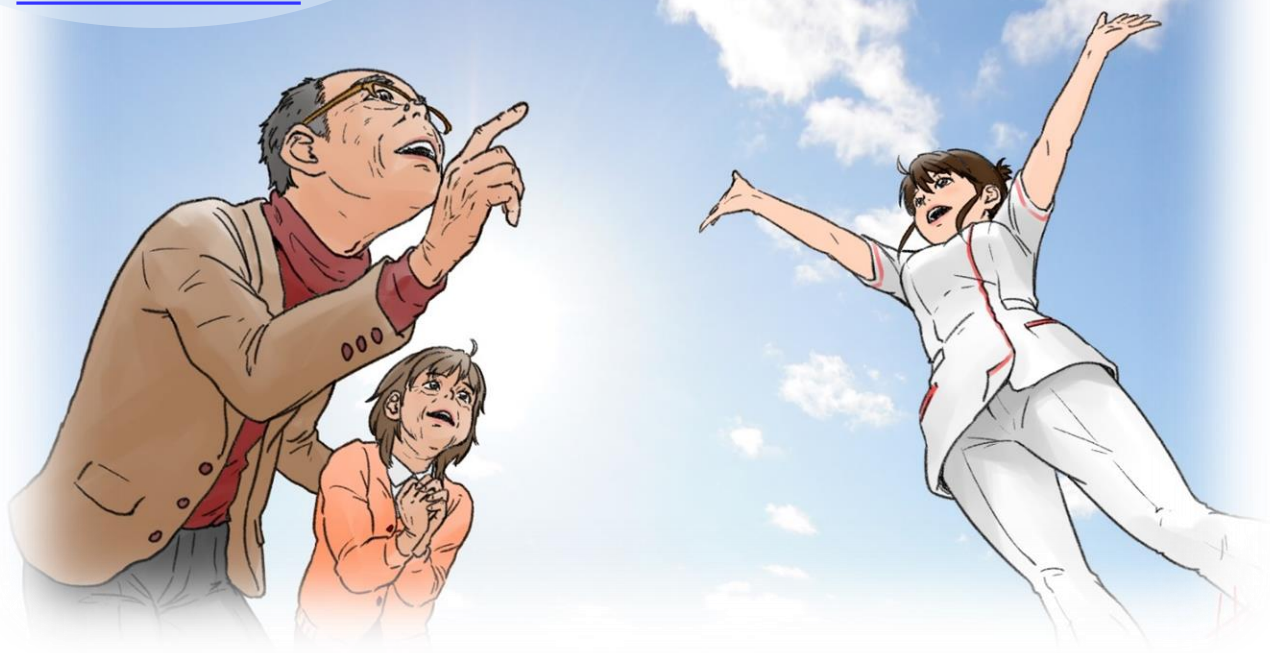
(国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院 サポートケアセンター がん看護専門看護師)
「高齢がん患者の意思決定支援における看護実践」

2021年9月4日(土)

13:00～15:30

WEB開催

※参加費無料ですが、事前申し込みが必要です
(先着90名様まで)参加〆切8月28日



参加申し込み先：

徳島大学大学院医歯薬学研究部 事務局

メールアドレス：ganpuro2021@gmail.com

※申込：1.御氏名，2.御所属，3.職種を本文中にご記載の上，メールにてお申込みください。

主催：高知県立大学大学院看護学研究科 徳島大学大学院医歯薬学研究部保健科学教育部
岡山大学大学院保健学研究科 広島大学大学院医系科学研究科 山口大学大学院医学系研究科保健学専攻

■講師紹介

山田 博英先生

徳島大学をご卒業後、2000年以降徳島大学病院、聖隷浜松病院、高松赤十字病院で麻酔科医として勤務され、2006年には徳島大学病院緩和ケアチームの立ち上げに携わり、専従医師（身体症状担当）として勤務されております。2008年からは聖隷浜松病院緩和医療科に異動され、2011年より現職となられて、緩和ケアの実践と普及に院内外で精力的にご活躍されています。

所属学会

日本緩和医療学会、日本サイコオンコロジー学会、日本麻酔科学会、日本救急医学会

■内容

がんは既に高齢者の慢性疾患であり、第3期がん対策推進基本計画において小児・AYA世代とともに高齢者のがん医療の充実が取り上げられています。「がんと診断されたときからの緩和ケア」の実践の一つとして、聖隷浜松病院での取り組みをご紹介します。緩和ケアチーム医師の視点で高齢がん患者の特徴を踏まえた意思決定支援についてご講演頂く予定です。

■講師紹介

平野 勇太先生

山口大学をご卒業後、2008年に国立がん研究センター東病院にて看護師として勤務され、2015年に研究休職し、東京大学医学系研究科に進学されております。2017年には東京大学医学系研究科を修了し、国立がん研究センター東病院へ復職、同年にがん看護専門看護師の資格を取得されております。

2019年より、緩和ケアチーム専従看護師に従事し、2021年4月よりサポーターブケアセンター看護師長へ昇任され、精力的にご活躍されています。

所属学会

日本がんサポーターブケア学会

■内容

高度ながん医療の進歩に伴い積極的治療を受ける高齢者が年々増加しております。高齢がん患者の治療は、病状や治療の厳しさだけでなく高齢ゆえの身体状況、精神状況、認知・知覚状況、社会状況などから限られた範囲での治療となり、思い描くような治療が受けられない状況が多々存在します。このような制限がある中で治療を選択・決断するときに、看護師として、どのような意思決定支援が大切になるのかをご講演頂く予定です。